

居ながら改修における活インフラの見える化

改修エリアには「撤去する」既存設備配管・配線と、稼働エリア用の「撤去してはいけない」設備配管・配線が混在している。

作業員への事前周知とともに現地で識別テープ（赤・青）で表示し、注意喚起を行っている。また毎朝、建築設備合同での現地最終確認を行い、解体作業を行っている。



建築・設備合同確認会（毎朝）



注意喚起表示



識別テープ表示状況

居ながら改修であるため活かす必要のあるインフラと切り離し・撤去するインフラを明確にし、誤切断・誤撤去のリスク低減を図った。